

平成29年度 ワクチン接種のご案内

ワクチンを接種しておくことで抗体が体で作られ、感染予防、発症予防、重症化予防になります

ワクチン名	ワクチン接種 税抜き料金(円)	抗体検査 税抜き料金(円)
インフルエンザ	3,500 円 接種しているとインフルエンザにかかりにくくなり、またかかった場合も重症化しにくくなります。予防接種後、効果が現れるまで2週間程度かかるため、なるべく12月中旬までのワクチン接種をお薦めしています。また、ワクチンの効果は約6カ月続き、例年12月～3月頃に流行します。	
A型肝炎	8,000 円 途上国を中心に流行があるため、流行地に渡航する前の接種をお勧めします。ワクチン効果は接種回数により違うため、回数は医師との相談となります。	HA抗体定性 1,500円
B型肝炎	7,000 円 途上国を中心に流行があるため、流行地に渡航する前、また医療従事者も感染を受けやすいため接種をお勧めしています。ワクチン効果は約10年続き、3回接種が原則となります。	HBS抗体定性 550円 HBS抗体精密 900円 HBS抗原定性 500円 HBS抗原精密 900円
破傷風トキソイド	3,500 円 怪我ややけどをしたときに、汚れた傷に破傷風菌が入り増殖すると発症します。発症した場合の死亡率は高く、約20～50%です。ワクチン効果は約10年続きます。	
ジフテリア・破傷風混合 (二種混合ワクチン)	5,000 円 ジフテリア(のどが狭くなる病気)、破傷風(傷から破傷風菌が入り増殖する病気)の予防ができるワクチンです。年齢により公費の補助がある場合があります。(11歳・12歳)	
百日咳・ジフテリア・ポリオ・破傷風混合 (四種混合ワクチン)	10,000円 途上国を中心に流行があるため、流行地に渡航する前の接種をお勧めします。	
狂犬病	14,000 円 途上国を中心に流行があるため、流行地に渡航する前の接種をお勧めします。発症した場合の人の死亡率は高く、ほぼ100%です。ワクチン効果は約2年続き、3回接種が原則となります。	
麻疹	7,000 円 麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症の予防ワクチンです。特効薬がないので予防が大切になります。ワクチンの効果は終生続きます。	HI法 800 円 EIA法 2,300 円
風疹	7,000 円 風疹ウイルスによって発熱、特有な発疹などがおき、また妊娠初期の女性が風疹にかかると先天性風疹症候群の子どもが生まれることがあります。特効薬がないので予防が大切になります。ワクチンの効果は終生続きます。	HI法 800 円 EIA法 2,300 円
MR (麻疹・風疹混合)	10,000 円 麻疹、風疹ワクチンを同時に予防することができます。	

◎ あくまでも目安であり接種歴、期間、渡航地域などにより推奨されるワクチンは異なります。お気軽にご相談ください。

◎ 小学生以下は原則として、かかりつけの小児科で接種をしてください。かかりつけの小児科がない、海外渡航等で他のワクチンと同時に接種する場合は当センターでの接種も可能です。

◎ 抗体検査で単独採血の場合は、判断料1440円 + 採血料250円が加算されます。

※ 別紙にて渡航地別ワクチンのご案内がございます

平成29年度 ワクチン接種のご案内

ワクチンを接種しておくことで抗体が体で作られ、感染予防、発症予防、重症化予防になります

ワクチン名	ワクチン接種 税抜き料金(円)	抗体検査 税抜き料金(円)
ホ° リオ (不活化)	8,000 円 途上国を中心に流行があるため、流行地に渡航する前の接種をお勧めします。ワクチン効果は約10年以上続き、2回接種が基本となります。	NT法 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) 2,400 円
ツバ° ルリソ反応検査	1,700 円 結核菌感染の診断に用いられる検査です。接種して48時間後の皮膚反応を判定します。	
BCG	5,000 円 結核に対するワクチンです。結核は日本でも毎年新たに2万人以上の患者が発生しており世界的に見ても結核の中まん延国という状況にあります。ワクチンの効果は約10年～15年程度続きます。	
肺炎球菌ワクチン	ニューモバックス 8,000 円 肺炎球菌がのどや鼻などから入り、肺炎や中耳炎を起こします。特に子供や高齢者に重症になりやすい病気です。ワクチンの効果は接種1ヶ月で最高値となり、5年後ピーク時の8割まで低下し、以後徐々に効果が低下します。再接種を短期間で行うと副反応が増加するため、5年以上間隔をおけば副反応が減り再接種できます。	
	プレベナー 10,000 円 予防の目的は上記のニューモバックスと同じですが、結合型ワクチンという新しいタイプの肺炎球菌ワクチンで、免疫の反応が良好である事と、効果の持続が長い事が特徴です。2つの肺炎球菌ワクチンを接種する事で、より高い予防効果が期待できるとされており、日本の学会や米国では2つのワクチンを半年から1年以上の間隔をあけて接種する事が提示・推奨されています。成人では65歳以上の方に接種が可能です。	
おたふく風邪 (ムンプス)	7,000 円 ムンプスウイルスが咳などの飛沫感染でうつり、耳下腺などが腫れます。成人して発症すると病状が非常に重く、治りにくく、また合併症の危険もあります。特効薬がないので予防が大切になります。ワクチンの効果はほぼ終生続きます。	HI法 800 円 EIA法 2,300 円
日本脳炎	6,000 円 途上国を中心に流行があるため、流行地に渡航する前の接種をお勧めします。特効薬がないので予防が大切になります。ワクチン効果は約4年続き、1回接種(未成年は3回接種)が原則となります。年齢により公費の補助がある場合があります。	
水痘	10,000 円 感染力の強い水痘ウイルスに感染して起こり、発熱と全身に強いかゆみを伴う発疹が特徴の感染症です。ワクチンの効果は終生続きます。	HI法 800 円 EIA法 2,300 円
髄膜炎ワクチン (メナクトラ)	21,600 円 髄膜炎菌感染症の予防 メナクトラ筋注は髄膜炎菌(血清型A、C、Y、及びW-135) 多糖体ジフテリアトキソイド結合体ワクチンです。	

◎ あくまでも目安であり接種歴、期間、渡航地域などにより推奨されるワクチンは異なります。お気軽にご相談ください。

◎ 小学生以下は原則として、かかりつけの小児科で接種をしてください。かかりつけの小児科がない、海外渡航等で他のワクチンと同時に接種する場合は当センターでの接種も可能です。

◎ 抗体検査で単独採血の場合は、判断料1440円 + 採血料250円が加算されます。

※ 別紙にて渡航地別ワクチンのご案内がございます